

第7回アジア冬季大会 2011年1月31日~2月6日 カザフスタン国アルマトイ市

第7回アジア冬季大会の正式種目としてスキーオリエンテーリング加わった。これはカザフスタンの国家戦略だ。

2011年1月31日~2月6日
第7回アジア冬季大会
カザフスタン共和国アルマトイ市



アジア冬季大会2011 スキーオリエンテーリング男子リレーで優勝を決めたカザフスタンのウイニングラン。国旗を振るのはミハエル・サロキン。カザフスタンに4個の金メダルをもたらした、国民的英雄となった。

国家統一の象徴

若い国家が苦難の末に一定の発展を遂げ、さらにこれから伸びようとするときに大きなスポーツイベントが行われてきたのを私たちは何度も見てきた。

東京オリンピック、札幌オリンピック、ソウルオリンピック、北京オリンピック、広州アジア大会、南アフリカワールドカップ。

それと並ぶイベントがカザフスタンでのアジア冬季大会だった。大会期間中のカザフスタン国内の盛り上がりは、1998年の長野オリンピックにも匹敵するものだった。



表彰式では、老いも若きもスタジアムの観客全員が立ち上がり、胸に手を当ててカザフスタンの国歌を誇り高く歌う。多民族国家カザフスタンの国家統一が形となって現れた瞬間だ。

カザフスタン国内では連日マスコミで競技の様子が大きく報道され、同時にメダル数の比較が報道されていた。

金メダル数最終結果

カザフスタン	32
日本	13
韓国	13
中国	11
他国	0

これを観てカザフスタンの国民はどれだけ勇気づけられたことだろう。国民はカザフスタンの国旗の下にひとつにまとまることを誇らしいと思ったことだろう。

ソビエト連邦崩壊から22年

これこそが多民族国家カザフスタンをまとめる政府と大統領の望んでいたものだろう。ソビエト連邦が崩壊し、カザフスタンが独立して22年。この若い国がかかえる民族問題をスポーツの力でまとめ、これからこの国を発展させてゆく強いメッセージになった。このためにはどこの国よりも多い金メダルが欲しかったに違いない。

金メダル請負競技

実はカザフスタンの金メダルのうち4分の1にあたる8個はスキーオリエンテーリングで獲得したものである。

どうがんばっても日本や韓国に勝て

ないスケート種目のメダルをあきらめ、スノーボードを種目から外し、アルペンの技術系競技を種目から外し、カザフスタン得意のバンディとスキーオリエンテーリングを種目入りさせている。

そう、スキーオリエンテーリングはカザフの金メダル請負競技としてアジア冬季大会に加わったとも言える。

だがかつての日本も東京オリンピックの際に柔道を正式種目にしているし、ソウルオリンピックではテコンドーが正式種目となった。どこも同じようなことをしているのだ。

少なくとも、スキーオリエンテーリングはカザフスタンの国づくりに役立ったことは間違いないようだ。

(木村佳司)



Astana - Almaty
7th ASIAN WINTER GAMES
2011